

令和3年度 事業計画書・予算書

一般財団法人新庄市体育協会 子供から大人まですべての人が豊かなスポーツライフへ



目 次

○定款に定める体育協会の目的及び事業	1ページ
○令和3年度事業推進基本方針	1
1. スポーツ振興事業	
2. 施設管理運営事業	
3. 法人管理事業	
○令和3年度事業計画（案）	
1. スポーツ振興事業	2
〔1-1〕 スポーツの普及推進に関する事業	2
(1) 新庄市総合体育大会	
(2) 市民総スポーツ推進・健康づくり推進事業	
(3) こども・はばたき事業	
(4) 広報事業	
(5) 総合型地域スポーツクラブ連携	
〔1-2〕 育成強化、競技力向上に関する事業	3
(1) 育成強化事業	
(2) スポーツ少年団育成事業	
(3) 体育表彰事業	
(4) 最上地区共同強化事業	
〔1-3〕 サイクルスポーツセンター管理事業	5
(1) 維持管理事業	
2. 施設管理事業	5
(1) 新庄市スポーツ施設指定管理事業	
(2) 最上中央公園指定管理事業	
(3) 新庄市都市公園管理事業	
(4) 新庄市公有財産管理事業	
3. 法人管理事業	7
(1) 内部統制の確立	
(2) 法人の健全・安定的運営	
(3) 社会貢献活動	
○令和3年度予算（案）	
1. 令和3年度予算書（案）の概要	8
2. 令和3年度予算書（案）	11

定款に定める体育協会の目的及び事業

《目的》 新庄市のスポーツを振興し、市民の体力向上と健康の増進並びにスポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

- 《事業》
- 1 市民スポーツの普及及び市民の健康づくりの推進に関する事業
 - 2 選手の育成強化、競技力向上に関する事業
 - 3 スポーツ施設及び市有関連施設の管理運営、整備に関する事業

令和3年度事業推進基本方針

(1) スポーツ振興事業

市民がそれぞれのライフステージにあわせて、気軽にスポーツに親しむ環境を創出し、スポーツを通して市民の健康づくりを推進します。

○市民みんながライフステージに適したスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりを推進するため、「生涯スポーツ推進計画」の策定に向けて検討を開始します。

○選手育成強化、市民スポーツ推進のカギとなる“指導者”を養成し、指導を継続できる環境づくりを進める。

○体力低下、運動離れなど子どもの体、スポーツを巡る問題についてみんなで考える体制づくりを進め、特に、幼児期からの“アクティブ・チャイルド・プログラム”(ACP)を推進する。

○新庄市等が主催又は参加するスポーツイベントに協力する。

- ・ホストタウン推進事業（台湾バドミントン計画）
- ・東京2020オリンピック聖火リレー新庄・最上実施事業
- ・県縦断駅伝競走
- ・10月（日時未定）新庄市シティハーフマラソン
- ・その他市のスポーツイベント

(2) 施設管理事業

スポーツの市民ニーズを把握し、対応できる公の施設として、新庄市と連携を密接にし、施設の特性を生かし、利用者の安全を確保し満足度の高いサービスを提供できるよう管理運営する。

○新型コロナウイルス感染予防のための必要な感染拡大防止対策を講じ、安心して利用いただけるよう安全確保を行う。

○施設の日常点検を徹底し、危険個所を的確に把握し、応急対応、修繕その他必要な措置について市に報告・提案を積極的に実施する。

○施設利用者の声を聴き、協会内での情報共有を徹底する。対応可能な事案については積極的に見直し、利用者の満足度を高められるよう努力を重ねる。

(3) 法人管理事業

市民の立場に立った公益増進の担い手という法人の役割を踏まえ、透明性の確保など公益的法人として求められる内部統制を確実に果たしていく。また、事業の効率的執行に努め、将来にわたり安定的に経営を進める。

令和3年度事業計画

1. スポーツ振興事業

〔1-1〕スポーツの普及推進に関する事業

(1) 新庄市総合体育大会 事業費 915 千円

新庄市の委託を受け、実行委員会設置のうえ大会実施競技団体とともに主管し、実施する。市民がスポーツを通じて交流する機会を創出、拡大するという原点を踏まえ、大会実施競技団体とともにより多くの市民の参加が得られるよう努める。

(2) 市民総スポーツ・健康づくり推進事業 事業費 509 千円

健康増進と世代間交流を図るため、幅広く、多くの市民が気軽に参加できるスポーツ・健康づくり事業を企画、実施する。

- ①保育所・幼稚園児を対象に、陸上競技場芝生コートを会場として市及びサッカー協会と協働し、サッカーフェスティバルを開催する。(40 千円)
- ②市民にウォーキングを呼びかけ、歩数を記録する日誌の無料配布、完歩認定証の交付・記念盾の贈呈を行い、一年を通じて軽運動を継続する意欲の形成に寄与する。(64 千円)
- ③現役世代のスポーツ、レクリエーションの機会を提供するため、7回目となる市民エアバレー大会の一層の充実拡大を図る。(145 千円)
- ④健康体操“あべじゅ～体操”を参加者の自発性を尊重して実施する。(45 千円)
- ⑤冬こもりがちな子供の遊び場提供と市民スキー場への親しみを深めるため、市民スキー場を会場に様々な遊びを工夫した「第3回マジカルスノーランド」を実施する。(95 千円)
- ⑥その他楽しみながら、気軽にできる軽スポーツ（トランポピクス・青空ヨガ）等を臨機に計画し実施する。(120 千円)

(3) こども・はばたき事業 事業費 388 千円

ライフステージごとのスポーツとの関わりを体系化したうえで、少年期の体力低下と過度な運動の2極化など、子どもの体をめぐるさまざまな問題をみんなで考え、子どもを対象とした遊びを通じて体を動かす機会をつくり、運動が好きな子どもづくりをめざす。

- ①親子でスポーツに親しむイベント及び職員研修を実施する。(35 千円)
- ②日新小学校に加え、新たに新庄小学校の協力を得て体を動かすことが苦手な子どもを対象にした遊びと運動の場として年間を通じて活動する“はばたきクラブ”を実施する。(353 千円)

(4) 広報事業 事業費 516 千円

- ①本市にゆかりのあるスポーツマンの活躍ぶりを広く市民に伝え、応援意識の一層の高揚と選手への応援メッセージとするほか、身近なスポーツイベント情報、施設情報を掲載し、読まれる「スポーツ誌」を目指し、広報誌を発行する。(年5回発行予定・事業費 405 千円)
- ②ホームページを適切に管理し、各種スポーツ行事の参加者募集、大会結果など、新鮮な情報を随時掲載するとともに、e-NE Tなどによる施設利用者へのサービス、各種様式のダウ

ンロードなど加盟団体へのサービスと維持向上を図る。(106千円)

- ③本市スポーツ情報の集約機能を高めるため、加盟競技団体のホームページとリンクを張り、新規会員の発掘、加盟団体イベント情報の発信等により競技の普及活動に一層努力する。

(5) 総合型地域スポーツクラブ連携

総合型スポーツクラブ“かむてんスポーツクラブ”の目的は体協の主目的「市民へのスポーツの普及」と一致しており、意見交換、情報共有等を一層密接にしながら、連携して市民へのスポーツの普及をとともに図るとともに、引き続き事務所運営等の支援を継続実施する。

■クラブ会員数の推移

H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2
4 4 5	4 7 8	4 3 6	4 0 6	3 7 4	3 2 2	2 9 8	2 8 4	2 4 2	2 3 4

〔1-2〕育成強化、競技力向上に関する事業

(1) 育成強化事業 事業費 2,310 千円

- ①強化事業は、競技団体の5か年計画による育成・強化・普及対策事業を対象に、令和2年度は10団体（うち競技団8）が実施し、元年度比1団体減、1,490千円（コロナ感染の影響で強化事業を見送り、又は事業縮小した団体があり、事業精査等で変動する場合がある。）を交付した。

本年度においても、育成・普及・強化対策に取り組む団体にそれぞれ限度額150千円の育成強化事業費を交付する。事業推進にあたっては、計画に従い、交付目的を効果的に達成できるよう競技団体とともに検討を進め、さらに計画的に取り組む団体が増えるよう働きかける。

（育成強化事業費 10団体・交付金限度額（1,500千円）

- ②「基礎的運動機能強化事業」として、最上地区体育協会協議会とともに、指導者及び選手を対象にしたスポーツ全般に必要な基本的運動能力を向上させるセミナーを開催するとともに、指導者資格取得のための助成事業を実施する。

○基礎的運動機能強化セミナー 174千円

○指導者資格取得経費助成 30千円

- ③全国で活躍できる選手の育成に貢献することを目的に、日本トップクラスの実業団チーム（北都銀行バドミントンクラブを計画）を招聘し、トップアスリートの動きとメンタルを身近に接する機会を提供する「トップアスリート招聘事業」を実施する。(285千円)

- ④野球技術、意欲向上を図ることを目的に、小中高校生を主な対象に、現役プロ野球選手又は高校野球指導者を講師として野球教室を開催する。

○野球教室実施事業 311千円

(2) スポーツ少年団育成事業 事業費 1,082 千円

スポーツ少年団は、少子化の影響により団員数が減少し、また、加入率も減少している現状にある。より窓口を広くして、活動主体である団員数の維持・拡大のために各団の健全な活動継続を支援するとともに、活動の適正化などの課題の改善に取り組む。

■スポーツ少年団団員数の推移（中学生含む）

H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2
7 5 1	7 2 4	7 6 4	7 5 3	6 4 1	6 1 1	5 5 1	5 7 7	5 4 7

■小学生の加入率の推移（小学生団員数／小学生全学年）

H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2
28.1%	28.0%	23.6%	24.3%	25.2%	25.2%	23.8%	26.1%	24.7%

①活動あり方について

・平成31年3月13日付新庄市教育委員会から発せられた「新庄市における部活動の在り方に関する基本方針について」中4.（2）〔管理下外〕①により、練習が生徒の過度の負担にならないように本部員会議等を通じ、指導者に周知と順守への理解を深めることに引き続き取り組む。

・令和3年1月18日付新庄市教育長通知「新型コロナウイルス感染防止を踏まえたスポーツ少年団活動について（県外との往来に係る協力依頼）」のほか感染防止対策の通知等を各団に周徹底する。

②新しい年度のスタートを迎え、スポーツ少年団の趣旨を再認識し、やる気の高揚を図るため「結団式」を行うとともに、地域貢献として「美しい山形・最上川フォーラム」と協働し“スポーツGOMI拾い”を実施する。

③各団に交付する活動助成金1団2,000円を交付する。

④最上地区を代表して山形県少年少女スポーツ交流大会に出場する団に、監督・コーチを含め、参加費（全額）を助成する。

⑤指導者が子供の小学校卒業とともにスポ少から離れる指導者が多くいるが、意欲ある指導者が認定員資格を喪失しないようにする市本部登録制度により、継続して活動する環境づくりを進める。

- ・山形県本部登録料 620千円
- ・山形県少年少女スポーツ交流大会参加助成金 105千円
- ・団育成助成金 85千円
- ・負担金等 51千円
- ・事務局費 221千円

■主な日程

4／29	令和3年度新庄市スポーツ少年団結団式・スポGOMI大会 in 新庄
4～7月	令和3年度スポーツ少年団登録
7／30～8／1	山形県スポーツ少年大会・ジュニア・リーダー・スクール（置賜地区）
10月3日基準日	山形県少年少女スポーツ交流大会
10月	スタートコーチ養成講習会〔山形市〕
11／13	山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会（白鷹町）
	※最上地区スポーツ少年団交流大会5月運営委員会で日程・会場を決定

(3) 体育表彰事業 事業費 282 千円

表彰規程に基づき、新庄市のスポーツ普及振興に功績のあった方、選手育成に顕著な実績をあげた方、各種競技会において優秀な成績を収めた選手を表彰する。

(4) 最上地区共同強化学業 事業費 103 千円

山形県体育協会助成金を活用して、最上地区市町村の体育協会が共同して選手強化を図る。

○地区共同強化学業費 103 千円

・山形県体育協会負担金 83 千円・最上地区体育協会連絡協議会負担金 20 千円

[1-3] サイクルスポーツセンター管理事業

(1) 維持管理事業 事業費 250 千円

東日本大震災により走路の一部が崩落し、平成25年7月末以来休止していたが、復旧を断念し、この結果、施設は平成31年3月31日をもって廃止した。施設は有姿除却として処理したことから、建物及び構築物は引き続き存在している状況にあり、今後においても、安全管理、環境保全の管理を継続する。

2. 施設管理事業

(1) 新庄市スポーツ施設指定管理事業 事業費 112,434 千円

令和3年度に令和6年度までの5カ年の期間で、新庄市スポーツ施設の指定管理者に指定された。管理施設は次の10施設となった。

新庄市体育館	新庄市陸上競技場	新庄市民球場	新庄市武道館	新庄市テニスコート
新庄市民プール	新庄市民スキー場	福田運動広場	福田テニスコート	横根山運動広場

これら施設は、新庄市が市民の体育の普及振興を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的に設置しているもので、指定管理者は利用者のニーズに的確に対応しながら適切に管理運営することを強く求められている。

令和3年度は、新たな指定管理期間のスタートの年であり、経験に安住することなく改善に努めていかなければならない。

近年、自然災害が全国各地に毎年のように発生している。また、新型コロナウイルス感染対策など経験のない様々な突発的事案が発生している。こうした中で、指定管理者に求められる機能は、緊急時における対応力であり、利用者の安全確保、避難誘導のほか様々な事案に柔軟に対応できる職員の能力向上は欠かせない。このため日頃から、ヒヤリハット・危険予知訓練や災害等への対応訓練に取り組むほか、施設管理における先進地視察や研修の機会を捉えて職員を派遣し、そこから得た知見を組織内で共有化し、利用者が安心して満足できるように運営と施設維持の両面から職員の能力開発に努力を積み重ねていく。

改善するべきところは改善し、市民が安心して安全に利用できる施設管理に最大限の努力有意義に提案と実行を可能ならしめる体制整備を進める。

○新庄市体育施設の指定管理に関する事業費（予算）

単位：千円

	市民球場	武道館	体育館	市民プール	屋外施設	市民スキー	合計
利用料	1,228	551	875	242	1,512	3,500	7,908
指定管理料	24,206	6,191	23,282	4,542	12,273	30,960	101,454
管理経費	19,088	3,934	42,417	4,388	9,644	30,831	110,302

（職員人件費は体育館に一括して計上していることにご注意ください。なお、管理費用に不足する収入（利用料＋指定管理料）は、自動販売機収入等を充当する。）

（２）最上中央公園指定管理事業 事業費 24,895 千円

山形県立公園「最上中央公園（すばーていあ含む）」は、当協会が平成27年度から山形県の指定を受け、指定管理者として管理運営にあたっています。市街地にあつて広い緑の空間を提供し、芝生の公園散歩等市民の憩いの場としてご利用いただいております。また、屋内運動施設として「すばーていあ」を備えて、季節を問わず、特に降雪期の活動場所など冬季の活用も図るなど一年を通じてご利用いただいております。さらには、新庄雪まつりの会場としても定着してきています。

最上中央公園は、最上圏域の都市公園施設として県民の憩いの場として整備された公園であり、適切かつ効率的に管理するとともに、花・緑推進活動、スポーツ活動を主に自主事業を展開し、圏域住民から親しまれる公園づくりを進めるとともに、公園を活用した事業を積極的に実施し、新庄雪まつりに協力していきます。

○最上中央公園の指定管理に関する事業費

利用料 3,100千円 : 指定管理料 21,115千円 : 管理経費 24,895千円

○《自主事業》

- ①市民植栽事業
 - ②スポーツGOMI拾いin新庄
 - ③タグラグビーをやってみよう
 - ④ワークショップ
 - ⑤スケートジャンキー（スケートボード）
- （新庄市主催）雪国ワンダーランド
（新庄青年会議所主催）新庄雪まつり

（３）新庄市都市公園管理事業 事業費 14,593 千円

新庄市から委託を受けた都市公園施設30カ所の管理業務を適切に管理する。

最上公園	東山公園	歴史センター脇広場	八幡公園	福田緑地	中央公園	金沢公園
末広公園	足達前公園	常葉町公園	谷地田公園	下田公園	中道公園	千門町公園
沼田公園	中の川公園	金沢東公園	小檜室1号公園	小檜室2号公園	玉の木緑地	
横町緑地	上金沢緑地	往還東緑地	横根山工業団地緑地	新町緑地	駅前ふれあい広場	
駅東口交通広場	泉田川河川公園	西山河川広場	新田川河川公園			

（４）新庄市公有財産管理事業 事業費 1,705 千円

新庄市から委託を受けた仁間処理場跡地・ポリテクセンター跡地の一部・萩野児童館跡地の維持管理を適切に管理する。なお、令和2年度まで受託していたの新庄中核工業団地未分譲地・ポリテクセンター跡地の一部の管理委託は新年度廃止となり、委託料の減少にともなつて事業費も減少している。

3. 法人管理事業

○法人管理費 6, 159千円

(1) 内部統制の確立

「民の立場での公益増進の担い手」という課せられた役割を踏まえ、透明性の確保など公益的法人として求められる内部統制を確実に果たしていく。

協会内部では、市関係規程と協会規程の習熟に努め、組織内の情報共有を確実に実行し、外部との情報交換は文書によることを原則に業務を進める。

職員が、自発的で自律的な課題整理、計画立案機能をもって業務に当たることを目的に、事務局に施設間部門グループとスポーツ推進グループを設け、それぞれに定期的な意見交換の場を設けるなど柔軟な発想のもと、それぞれの業務分担の効率的執行に努め、将来にわたり安定的に経営を進める。

(2) 法人の健全・安定運営

①職員が意欲と安心感を持って働ける環境づくりのための経費は、組織の努力により生み出さなければならず、自主財源の確保に努める。

・自動販売機管理運営

施設利用者のサービス向上を共通の目的に、当協会と設置事業者が適切な役割分担の基に自動販売機によるサービス提供を共同運営する。

②基金の計画的積立て・積極的活用

スポーツ振興基金と法人運営基金について、事業の充実とともに将来にわたり安定的に組織を運営できるよう、可能な限り積み立て、目的に即して積極的に活用する。

《各基金の現在高》令和3.3.17現在

スポーツ振興基金 6, 868, 986円

法人運営基金 12, 209, 933円

(3) 社会貢献活動

法人の社会的役割を踏まえ、職員参加の社会貢献活動を行う。

・献血活動

・東日本大震災被災者支援活動のサポート

令和3年度予算書（案）の概要

《収入の部》

(千円)

項目	予算額	R2比	説明
1 基本財産・特定資産・受取利息	3	0	預金利子
2 負担金	972	0	
(1) 加盟競技団体負担金	270	0	
(2) スポーツ少年団登録料	702	0	
3 賛助会員会費	100	▲150	
4 新庄市補助金	10,900	▲185	新庄市から
5 新庄市総合体育大会実施委託料	915	0	新庄市から
6 指定管理委託料	122,569	▲1,636	
(1) 新庄市スポーツ施設	101,454	▲1,002	新庄市
(2) 最上中央公園	21,115	▲634	山形県
7 利用料金	11,008	218	
(1) 新庄市スポーツ施設	7,908	218	料金改定による減収
(2) 最上中央公園	3,100	0	
8 新庄市都市公園管理業務委託料	18,671	46	新庄市との委託契約
9 新庄市公有財産管理業務委託料	1,033	▲2,361	新庄市との委託契約
10 自動販売機設置料	1,860	▲740	
(1) 新庄市スポーツ施設	1,600	▲750	
(2) 最上中央公園	260	10	
11 自主事業収入	215	▲86	自主事業参加費他
12 雑収益	545	350	県より減収補填(300)
計	168,791	▲5,244	

《支出の部》

(千円)

項目	予算額	R2比	説明
1 スポーツ振興費	12,379	▲322	
(1) スポーツ普及推進事業費	2,328	▲331	
(2) 育成強化事業費	3,777	▲22	
(3) サイクルスポートセンター費	250	0	
(4) スポーツ振興総務関係費	5,991	31	給与改定等
(5) 減価償却費	33	0	
2 新庄市スポーツ施設管理事業費	110,302	▲2,132	
(1) 施設管理事業費	109,970	▲2,082	給与基準改正等
(2) 減価償却費	332	▲50	
3 新庄市都市公園管理事業費	14,593	358	
(1) 施設管理事業費	13,795	▲331	市契約
(2) 減価償却費	798	689	軽ダンプ2台購入
4 新庄市公有財産管理事業費	1,705	▲716	
(1) 施設管理事業費	1,626	▲748	
(2) 減価償却費	79	32	
5 最上中央公園管理事業費	24,895	▲1,120	
6 法人管理費	6,159	▲641	給与改定・職員研修費
計	170,033	▲4,573	

予 算 説 明

《全体》

- 令和3年度予算は、令和2年度当初予算と比較して、収入は5,244千円の減少し168,791千円、支出は4,573千円の減少し170,033千円となった。収入額を超過する支出額1,242千円は全額減価償却費であり実質収支には影響しない。
- 収入面では、指定管理料及び受託収益事業が減少し、収入総額の減少の大きな原因となった。また、新型コロナウイルス感染が終息しない中、自動販売機収入の減少を見込んだ結果、比較的大きな減少を見込まざるを得ない状況となった。
- 支出面では、指定管理料算定における人件費増に対応したほかは、収入減に対応した支出削減の計上を行った。特に消耗品等は前年度比で1,435千円削減した他、委託費においても見積もり又は支出実績をもとに必要最低限を見込み、計上した。
- 当期経常増減額1,242千円はすべて減価償却費である。来年度前年度比671千円の増となったのは、老朽化した軽ダンプ車の更新（1500千円×2台：耐用年数4年）を行うためにその減価償却費を計上した。
- 事業別では、スポーツ振興事業及び法人管理事業において合計5,437千円の支出超過となり、受託事業及び自動販売機収入で収入超過5,938千円となり、支出超過分を収益事業で賄う予算となっている。

《収入》・・・収入の主な内容は次のとおり

- 利用料金は、市指定管理料算定にける利用料金額及び令和2年度実績を考慮して見込んだ。

	令和3年度予算計上額	令和2年度予算計上額	差 額
体育館	875	830	45
野球場	1,228	1,326	▲98
武道館	551	592	▲41
プール	242	245	▲3
スキー場	3,500	2,904	596
屋外施設	1,512	1,793	▲281
小 計	7,908	7,690	218
最上中央	3,100	3,100	0
計	11,008	10,790	218

市施設は、市において令和元年度までの5年間の平均利用料額から令和2年度の利用料改定による減収額を差し引きして算定された利用料額を計上した。ただし、スキー場は令和2年度の実績をもとに見込み596千円を増額計上したことから、利用料収入全体では218千円の増額計上となった。

最上中央公園は、指定管理期間に掲げた収支計画にける利用料金額を計上した。

- 新庄市公有財産管理委託料 工業団地未売却地及び旧ポリテクセンター跡地の管理委託業務が廃止または縮小されたことにより2,361千円の大幅減少となった。

○新庄市の指定管理料 主な増減内容は以下のとおり

①人件費基準の増額改定 529 千円増

②修繕料 200 千円増

③委託料 スコアボード点検委託において機器更新が終了したことで▲1,874 千円

○山形県の指定管理料 令和3年度が今期指定期間の最終年度である。原則としてこの4年間の指定管理料は同額とされているが、令和2年度に機器更新（高気圧気中開閉器・634 千円）が終了したことにより減額となり21,115千円となった。

○自動販売機設置料収入 令和2年度実績やコロナ感染対策により大会等の利用と観客入場制限により▲740 千円を見込んだ。なお、大会等の開催が多い市施設において減少し、県施設は実績

○自主事業収入 体育協会主催の自主事業、最上中央公園自主事業の参加費収入であり、実績額を参考に見込んだ。

○雑収益 甲子園県予選大会での軽食・飲料水販売（野球場）、浮き輪貸出し・ゴーグル販売（プール）、そり貸出し（スキー場）などの収益活動を見込んだが、令和2年度実績額を参考に確実な範囲で見込んだ。

《支出》・・・支出の主な内容は次のとおり

○スポーツ振興費は、前年度比 322 千円の減額計上となった。その主な内容は次のとおり。

・スポーツ普及推進事業費は、実績額を参考に広報・印刷製本費▲84 千円、謝金▲130 千円計上したほか、雑費の縮減 90 千円を行った。

・育成強化事業費の助成額は 1,500 千円で、交付団体を 10 団体と見込んだ。「基礎的運動機能強化事業」及び「野球教室」は昨年度とほぼ同額の 485 千円を計上した。また、競技力向上を目的に実業団として活躍する北都銀行バドミントン部を招く「トップアスリート招聘事業」を 55 千円増の 285 千円を予算化した。

・サイクルスポーツセンター管理事業については、施設の供用は昨年廃止されたが、除草、舗装面の亀裂管理は引き続き実施する。

○人件費では給料表の増額見直により、職員給料 900 千円、従業員賞与 150 千円、合計 1,050 千円の増額を計上した。

○指定管理事業費は、市施設▲2,132 千円、県施設▲1,120 をそれぞれ減額計上した。市が算定した指定管理料に対応した経費を計上を原則に、人件費における基準額と本協会給料表に基づく人件費との差額を計上したが、修繕委託の減少（前年度に修繕交換を終了）を計上した。

○都市公園管理事業は前年比 358 千円の増額となったが、減価償却費において軽ダンプ車購入による減価償却費 689 千円を増額計上したため、事業費では消耗品の減少等により 331 千円を減額計上した。

○公有財産管理事業は、▲716 千円の計上は受託量の減少に対応し経費の見直しを行ったほか、都市公園管理にも従事する臨時職員賃金を公有財産に計上したことにより、収入の減少額ほどに支出の減少とはならなかった